

MRI 検査留意事項(依頼医師向け)

検査をご依頼いただく際は、下記の内容をご確認ください。
(末尾にチェックリストがありますので、ご活用ください)

1. 診療情報提供書について

診療情報提供書にある撮影希望部位を選択してください。四肢は左右を明記してください。

一回の検査で撮像できる部位は1部位です。

病名(確定病名と疑い病名を区別してください)、検査目的(症状、経過、他検査所見、既往歴等)を詳記してください。撮影や画像処理に関わる特別な依頼事項があれば記載してください。

2. MRI 撮影に関する確認事項について

- ・狭い空間が苦手な方(閉所恐怖症)は、検査ができないことがあります。
- ・体内電子機器がある場合は検査をお受けできません。
但しペースメーカーは、種類によりお受けできますのでお問い合わせください。
例: 植え込み型除細動器(ICD)、両室ペーシング機能付き植え込み型除細動器(CRT-D)、脊髄刺激装置、深部脳刺激装置、人工内耳
- ・体内金属がある場合は、診療情報提供書の備考欄に詳細を記入してください。MRI 検査禁忌に該当する体内金属がある場合は検査をお受けできません(事前に、挿入した医療機関へお問い合わせください)。
例: 脳動脈瘤クリップ、血管内ステント及びコイル、金属製の人工弁、内視鏡用クリップ、人工関節、金属プレート、圧調整用シャントバルブ、磁石式の義歯またはインプラント、そのほか手術やケガ等で体内にある金属など
- ・妊娠中または妊娠の可能性がある方は、検査をお受けできないことがあります。
- ・鎮静が必要な方はお受けできません。

確認事項

- 1. 原則禁忌
 - ・電氣的、磁氣的、機械的に作動する体内埋込物のある患者
 - ・帯磁性の体内埋込物がある患者。但し非磁性であると確認済みの場合を除く
- 2. 警告または注意項目
 - ・体内に手術用クリップもしくはその他の MRI の磁界によって位置が変わる可能性のある帯磁性物品が埋め込まれた患者
 - ・眼球もしくはその周辺に導電性または帯磁性の細片の埋め込まれている可能性のある患者
 - ・入れ墨、パーマネントアイライン、アイメイクをしている患者
 - ・閉所恐怖症の患者
 - ・アルミニウムが使用されている貼付剤(ニコチネル TTS、ニトロダーム TTS など)を使用中の患者
 - ・一般状態の悪い患者や発作を起こす可能性の高い患者
 - ・妊婦(一般的には妊娠 13 週以降から)及び乳幼児
- 3. 狭い空間で 30 分程度の安静臥床に問題がない。